



羽村市立富士見小学校
校長 市川 晃司
令和8年1月30日 第10号
TEL: 042 (554) 6449
FAX: 042 (578) 1522

子供の瞳を輝かせたい

令和8年1月17日(土)に学校公開、道徳授業地区公開講座、校内書写展を開催したところ、多くの皆様に御来校いただきました。誠にありがとうございました。今回は道徳授業地区公開講座でしたので、2校時に道徳の授業を、3校時に公開講座を行いました。事前にお知らせをさせていただいた通り、保護者や地域の皆様の関心の高さ、連日続く報道等を踏まえて、テーマを「いじめ防止」にしました。3校時の公開講座には、100名を超える方に御参加いただき、私と萩原生活指導主任の説明を熱心にお聞きいただきました。また、説明後には、いじめ防止に関する御質問も複数の方からいただきました。詳細については、「富士見だより3月号」でアンケート結果と共にお知らせいたします。

さて、左下の写真と右下の会の流れは、1月16日(金)に実施した体育集会時のものです。1月20日(火)から始まる短なわ旬間に向けて、体育委員会に属する5・6年生が説明している場面を子供が見ている様子です。近くにいた低学年の子供たちの体が前のめりになり、瞳がキラキラするほど熱心に見聞きしている様子を見て、思わずシャッターを切りました。



短なわ旬間について

(会の流れ)

- 1 何のためにやるの?
- 2 短なわクイズ(姿勢・跳び方)
- 3 実演
 - ・前跳び、後ろ跳び、駆け足跳び、あや跳び、二重跳び
- 4 短なわ旬間について
 - ・コースについて
 - ・スペシャルコースについて(プロの動画視聴)
 - ・検定について

終了後、担当教員に聞いてみると、会の流れは、まず子供たちが案を出し、担当教員がアドバイスをしながら整えたそうです。なぜ、子供の瞳が輝いたのか考えてみました。

① 何のために短なわ旬間を行うのか、目的を明らかにした。

「体力が向上する」「集中力や我慢強さが身に付く」「運動習慣が身に付く」の三つの目的を6年生が分かりやすく堂々と説明しました。

② 短なわクイズで児童の興味・関心を高めた。

「正しい姿勢」「正しいジャンプ」について、それぞれ正解と不正解の写真を提示することで、児童に深く考えさせました。

③ 実演や動画により、憧れの気持ちをもたせた。

5・6年生の華やかな実演や動画が、「自分もやってみたい!」という気持ちにつながりました。

1月末までの中休み、短なわ旬間として全校児童全員が短なわに挑戦しました。児童が初級コース、中級コース、上級コース、スペシャルコースと自分のもっている力に合わせてチャレンジする姿は見ていて清々しく、心から応援したくなりました。

「子供の瞳を輝かせたい」・・・今後も、授業を中心としたすべての教育活動において、我々教職員が尽力しなければならないと改めて心に誓いました。